

UD化チェックリスト				考慮すべき機能		考慮すべき機能		考慮すべき機能	
				UD化のポイント1		UD化のポイント2		UD化のポイント3	
UDの基本要件1				チ ェ ッ ク			チ ェ ッ ク		
要件	UD項目	チェック項目	ガイドライン						
安全性	うっかりミスや危険につながる危険のないデザイン	1	うっかりミスを防ぐ工夫がなされている	<ul style="list-style-type: none"> <li>どのような使い方でもミスや危険にならないように配慮されている</li> <li>危険やミスが事前に気づくようになっている</li> </ul>					
		2	ミスしても危険につながらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>危険やミスをしたときにわかるようになっている(警告・停止)</li> <li>ミスしても安全なように配慮されている(フェイルセーフ)</li> </ul>					
		3	ミスしても簡単に元に戻せる	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミスしても危険につながらず、簡単に元に戻せる</li> </ul>					
	人体に害がない	4	人体に有害な物質を使用していない	<ul style="list-style-type: none"> <li>毒性がない</li> <li>アレルギーに対して配慮されている</li> </ul>					
接しやすさ	誰にでも公平に利用できる	5	誰にでも平等に使えるよう配慮されている	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的に誰でも同じ方法で使える</li> <li>同じ方法で使えない場合にはそれと同等の選択肢が用意されている</li> </ul>					
		6	差別感や不公平さを感じない	<ul style="list-style-type: none"> <li>見た目が同じである</li> <li>使い方等で他人と比較した場合に違和感がない</li> </ul>					
		7	プライバシーが守られ不安や引け目を感じない	<ul style="list-style-type: none"> <li>周囲からの視線を気にせずに安心して使える</li> </ul>					
	使い方が簡単ですぐわかる	8	複雑すぎず直感的に使うことができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>使い手に不安や疑問、誤解を生じさせような複雑さがない</li> <li>誰でもが直感的に使い方がわかるように工夫されている</li> </ul>					
		9	操作手順がわかりやすい	<ul style="list-style-type: none"> <li>操作のための情報が良く整理されている(重要度がわかる)</li> <li>用語や言い回しが誰にでも理解できるようにしている</li> </ul>					
	必要な情報がすぐに理解できる	10	情報の伝達手段が複数用意されている	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵や文字、手触りなど異なった方法で必要な情報を伝えている</li> <li>目や耳の不自由な人にも必要な情報が伝わるようになっている</li> </ul>					
		11	必要な情報がわかりやすく整理されている	<ul style="list-style-type: none"> <li>重要な情報は強調されわかりやすくなっている</li> <li>配置のされ方や色、形が工夫されわかりやすい情報となっている</li> </ul>					

UD化チェックリスト				考慮すべき機能		考慮すべき機能		考慮すべき機能		
				UD化のポイント1		UD化のポイント2		UD化のポイント3		
UDの基本要件2				チ		チ		チ		
要件	UD項目	チェック項目	ガイドライン	エ		エ		エ		
				ッ		ッ		ッ		
				ク		ク		ク		
.接しやす さ	使いやすい大 きさや広さが 確保されてい る	12	使いやすい広さや大きさになって いる	・ 操作が必要な場所や箇所に楽に近 づける ・ 操作するのに十分な広さや高さが 確保されている ・ いろいろな姿勢で使える						
		13	さまざまな体格の人が使える	・ 子供でも大人でもやせている人でも 太っている人でも使えるようになって いる						
		14	介助者が必要な場合には一緒に 使える	・ 介助しやすい広さや大きさになって いる ・ 介助者がそばにいても使えるよう になっている						
		15	運びやすくしましやすい	・ 使用するために運搬、収納、保管し やすくなっている						
.使い勝手	さまざまな使い 方ができる	16	使い方が選べる	・ 使い手の自由な意志で使えるよう になっている ・ 使い手の自由な意志で使い方を選 択できるようになっている						
		17	利き手を選ばない	・ 右利きの人でも左利きの人でも使 えるようになっている ・ 利き目、利き耳、利き足を問わず使 えるようになっている						
		18	使い手の使いやすいペースにあ わせることができる	・ 使用しやすい速度や能率で使える ようになっている ・ 急いでいても正確に使える						
		19	環境が変わっても使える	・ 屋内でも屋外でも使用できる ・ 暗くても騒々しくても使用できる ・ 外国でも使える						
	無理な姿勢を 取ることなく、 少ない力でも 楽に使用でき る	20	自然な姿勢で使える	・ さまざまな使い手にとって自然な姿 勢で使えるようになっている						
		21	余分な力を入れなくても使える	・ 体に負担を感じない慣れた力で自 由、快適に使える						
		22	無駄な動作を繰り返さない	・ 使う上で、無意味な動作を繰り返さ なくてすむようになっている ・ 必要な反復動作は使い手のストレ スにならない程度になっている						

UD化チェックリスト				考慮すべき機能		考慮すべき機能		考慮すべき機能	
UDの基本要件3				UD化のポイント1		UD化のポイント2		UD化のポイント3	
要件	UD項目	チェック項目	ガイドライン	チ エ ッ ク		チ エ ッ ク		チ エ ッ ク	
使い勝手	無理な姿勢を取ることなく、少ない力でも楽に使用できる	23 長く使っても疲れない	<ul style="list-style-type: none"> <li>無理な姿勢の連続、同じ姿勢の保持が身体的負担にならない程度である</li> <li>身体的負担がかかる動作は可能な限り短時間になっている</li> </ul>						
価格妥当性	UD製品の価格が適正である	24 UD製品の価格が使い手の納得できる価格である	<ul style="list-style-type: none"> <li>UD製品の価格が性能や品質に見合っている</li> <li>できるだけ多くの人が入手できる価格になっている</li> <li>ランニングコスト・廃棄処分に要する費用がかからない工夫がされている</li> </ul>						
		25 作り手にとって適正利潤が確保できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>使い手の意見が反映され、マーケット調査等の価格設定の裏付けがある</li> <li>必要機能が明確になっていて、コスト低減のための検討が十分になされている</li> </ul>						

UD化チェックリスト				考慮すべき機能	考慮すべき機能	考慮すべき機能			
				UD化のポイント1		UD化のポイント2		UD化のポイント3	
UDの価値を高める要件1				チ ェ ッ ク	チ ェ ッ ク	チ ェ ッ ク	チ ェ ッ ク	チ ェ ッ ク	チ ェ ッ ク
要件	UD項目	チェック項目	ガイドライン						
.拡張性	必要に応じて規模や範囲を広げることができる	26 個人の特性や環境条件の変化に追従できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな方法や構成部品を組み合わせることができる</li> <li>取り外し等が簡単にできるようにアタッチメントが工夫されている</li> </ul>						
	新しい技術やサービスを容易に受け入れることができる	27 フレキシブルな対応が可能である	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の技術革新等を予め想定している</li> <li>現状の技術レベルで解決できない不便さが明確になっている</li> </ul>						
.参画性	使い手と生産者のコミュニケーションが取られている	28 UD製品やサービスの開発に使い手が関与している	<ul style="list-style-type: none"> <li>使い手の意見を聞いている</li> <li>使い手が試作段階に参画している</li> <li>専門家の意見を聞いている</li> </ul>						
	使い手の声が反映できるようになっている	29 UD製品やサービスの使い手による評価をフィードバックできるようになっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>使い手の評価方法が明確になっている</li> <li>評価をフィードバックするシステムが確立されている</li> </ul>						
.慰安性	使い手に不安を与えず使い心地がよい	30 新しい製品が慣れた使い方でも使うことができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術やシステムに依存しなくても慣れた使い方で使用できる</li> <li>色、形、音等が廻りの雰囲気マッチしている</li> </ul>						
	あたたかい「おもてなしの心」が感じられる	31 「おもてなし」の配慮、「しつらえ」の準備や演出が感じられる	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の感性を尊重し、一期一会を楽しめるように配慮している</li> <li>本質を的確に表現し、心地よい演出を加え相手を快適な気分させる配慮がある</li> </ul>						
.審美性	使い手にとって魅力あるデザインになっている	32 見た目が美しくチャーミング	<ul style="list-style-type: none"> <li>使い手にとって愛着の生まれるデザインである</li> <li>使い手だけでなく他の人にも美しくチャーミングに思えるデザインである</li> </ul>						
		33 感性に訴えるデザインである	<ul style="list-style-type: none"> <li>使い手の生まれ育った環境、文化、風習、伝統、国民性、家族、教育等によって形成された感性に訴えかけるデザインである</li> </ul>						
	周りの環境に合ったデザインになっている	34 周りとの調和し、違和感を感じないデザインになっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>周りの環境、雰囲気に配慮されている</li> <li>使用されるあらゆる環境に配慮されている</li> </ul>						
.日本(新潟)的価値	地域固有の資源・技術・人を活かしている	35 地域固有の素材や匠の技を活用している(地域スタンダード)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域固有の素材、伝統的な形、匠の技が明確になっていて活用されている</li> <li>地域の気候風土に配慮され、合っている</li> </ul>						
		36 地域スタンダードをグローバルに展開している	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域スタンダードを応用し、他の地域でも使用できるようになっている</li> <li>地域スタンダードがブランド化されている</li> </ul>						

UD化チェックリスト				考慮すべき機能	考慮すべき機能	考慮すべき機能			
				UD化のポイント1		UD化のポイント2		UD化のポイント3	
UDの価値を高める要件2				チ エ ッ ク	チ エ ッ ク	チ エ ッ ク	チ エ ッ ク		
要件	UD項目	チェック項目	ガイドライン						
.持続可能性	地球環境の保全に配慮している	37 環境に配慮している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然エネルギーが活用され、省エネルギーの配慮がされている</li> <li>・ 生態系保全、地域共生、環境汚染防止の配慮がされている</li> <li>・ 再資源化、廃棄物削減、長寿命化への配慮がされている</li> </ul>						
		38 品質が良く、耐久性があり、メンテナンス性能に優れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用する上で十分満足できる品質を備えている</li> <li>・ さまざまな条件下でも、長く使い続けられるようになっている</li> <li>・ 保守、点検、整備がしやすいようになっている</li> </ul>						
	環境の変化にフレキシブルに対応できる	39 仕組みやシステムのフレキシビリティが高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕組みやシステムが単純で容易に変更や取替ができる</li> <li>・ 仕組みやシステムが循環型やスパイラルアップになっている</li> </ul>						